

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	釘松地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・小林市	453625	1	平成 22 年度～ 平成 24 年度	平成 22 年度
活性化計画の区域				
釘松地区（宮崎県小林市：旧野尻町）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化（計画区域における区画整理事業までの年数）	1 年	1 年	100%	

(コメント)

目標達成により、平成 23 年度から釘松地区県営土地改良事業（戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 [農地整備事業 畑地帯担い手支援型]）の事業計画が決定・採択され、現在、県営土地改良事業を実施中である。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整事業 8.0ha		小林市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
—	平成 22 年度	平成 22 年度	—
事業の効果			
区域内でアンケート調査等の実施や、話し合い等を重ねることで、農業者や農地所有者の間に、県営土地改良事業を活用して地域の担い手に農地集団化を図ることが広く認知され、県営土地改良事業計画の決定に向けた合意形成が進展し、活性化計画に基づく県営土地改良事業の採択に至った。			

3 総合評価

(コメント)

活性化計画の目標は、事業の実施により着実に達成され、県営土地改良事業の採択に至った。

今後は、県営土地改良事業を計画的に進めることで、担い手への農地の面的集積につながり、農業生産性向上や経営規模拡大が推進され、定住等の促進が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

本地区は、丘陵地の畑台地と低地の河川沿いに水田を有する農村で、畑地帯は水利施設がなく、農業用水は天水に頼っている状況である。また、農道や排水路が未整備で零細区画の畑が分散しており、大型機械の導入等の生産性向上の阻害要因となっている。

本事業により、地区内でアンケート調査の実施や話し合いを重ねることで、農業者間に集団化した農地集積の重要性が認知され、県営土地改良事業計画を活用した合意形成が進展し、採択に至っている。今後、土地改良事業を計画的に進め、農地整備とともに農地の集積、生産性向上と経営規模拡大が推進され、地域農業の一層の発展と定住促進が期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)